

サステナビリティ経営が目指す未来

経営理念

経営ビジョン

経営方針

サステナビリティ
方針

事業を通じて解決する社会課題

アンリツグループの 事業全体

安全・安心なインフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の創造とイノベーションの促進に貢献する



計測事業

- 強靱なネットワークインフラ整備



PQA事業

- 食品ロスの低減
- 品質保証



情報通信事業

- 強靱なインフラ構築
- 自然災害の防災／減災



センシング&デバイス事業

- 強靱なインフラ構築
- 健康的な生活の確保



社会の要請に応える課題(ESG)

地球環境保護の推進

持続可能な消費と生産の企業活動で持続可能な社会づくりに貢献する

- 再エネ自家発電比率向上
- CO₂排出量(エネルギー消費量)／水使用量の削減
- 高品質で環境に配慮した製品の開発／製造
- 環境負荷を低減するSCM*



グローバル経済社会との調和

多様な人財とともに、個人が成長し働きがいのある職場づくりに貢献する

- 人権と多様性の尊重
- 人財育成
- 労働安全衛生
- 人権に配慮したSCM



ガバナンスの強化と充実

透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定とリスクマネジメントで誠実な企業活動を行う

- コーポレートガバナンス
- コンプライアンスの定着
- リスクマネジメントの推進



*サプライチェーンマネジメント

コミュニケーションの推進による共有価値の創造

全てのステークホルダーとともに協働して共有価値の創造に貢献する

- ステークホルダーへの情報提供とコミュニケーション



(計測事業)

- 通信用半導体メーカー
- 通信モジュールメーカー
- スマートフォンメーカー
- 無線基地局メーカー

- 通信事業者
- 自動車メーカー
- IoT端末メーカー

- 家電メーカー
- 航空宇宙関連

(PQA事業)

- 加工食品メーカー
- 医薬品メーカー

お客さま

(情報通信事業)

- 金融関連事業者
- 教育機関
- 自治体
- 通信事業者

(センシング&デバイス事業)

- 医療機器メーカー
- 通信事業者
- 通信部品メーカー

サステナビリティ経営が 目指す未来 安全・安心で豊かな グローバル社会の発展

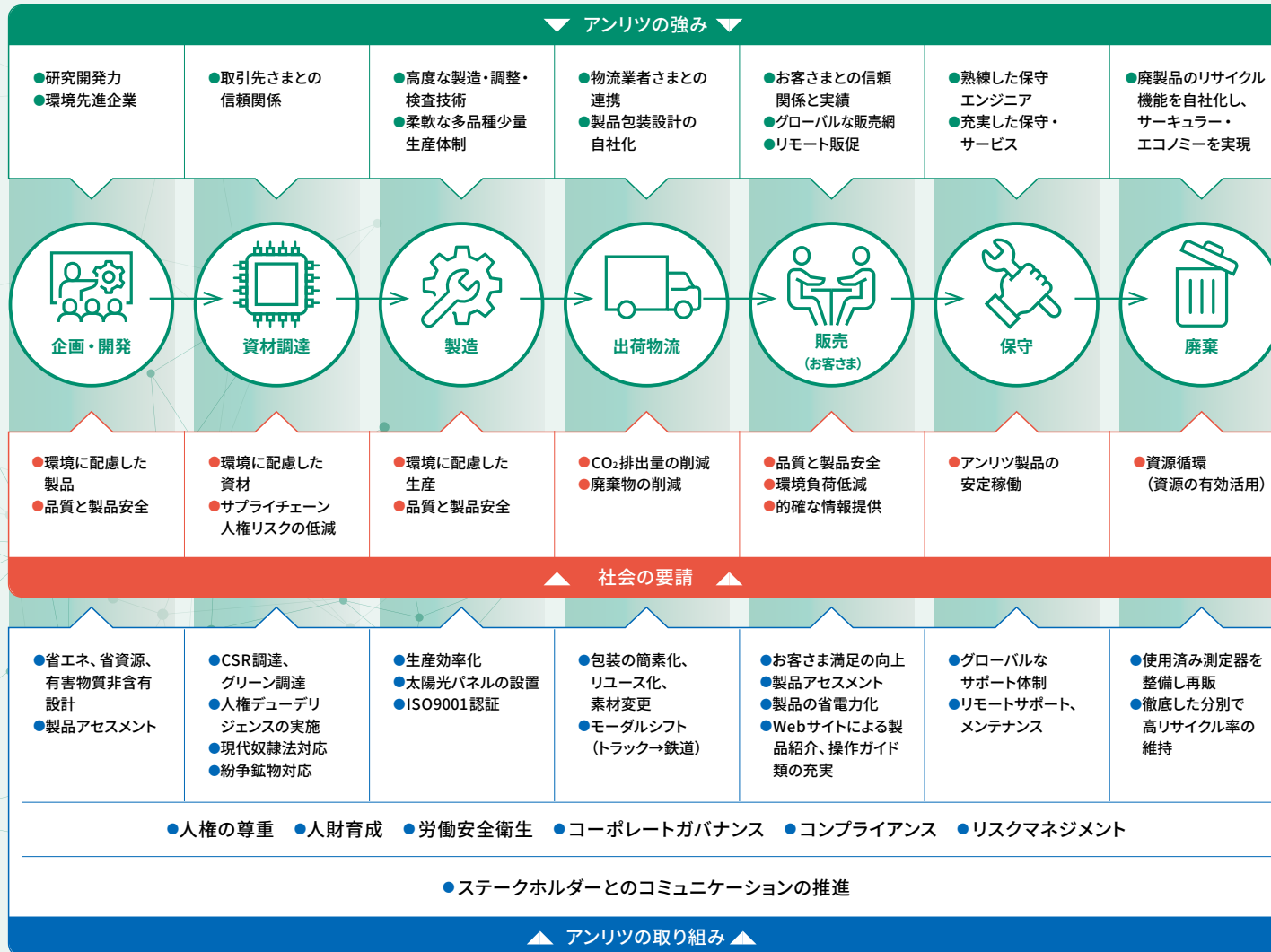
アンリツは、お客さまとともに事業を通じて社会課題の解決に貢献します。そして、アンリツが重要と考える社会の要請に応える課題(ESG)に向き合い、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを重視し、グローバル社会のサステナビリティの発展に向けて取り組みます。

貢献領域



アンリツのバリューチェーンと事業を支える強み

安全・安心で豊かな社会づくりを支えるアンリツは、製品の企画・開発から廃棄に至るプロセスで、環境配慮や人権尊重などの社会の要請に応え、ステークホルダーと協創しながら価値を高めるバリューチェーンを形成しています。



事業を通じて解決する社会課題

アンリツグループの事業全体

安全・安心なインフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の創造とイノベーションの促進に貢献する



計測事業

- 強靭なネットワークインフラ整備



通信市場向け計測ソリューション

PQA事業

- 食品ロスの低減
- 品質保証



加工食品、医薬品の生産ライン向け品質保証ソリューション

情報通信事業

- 強靭なインフラ構築
- 自然災害の防災・減災



帯域制御装置、画像監視システム

センシング&デバイス事業

- 強靭なインフラ構築
- 健康的な生活の確保



光デバイス、高速電子デバイス

計測事業

先進的な計測技術で最適な測定ソリューションをいち早くお届けすることを使命に、お客さまとともに安全・安心な通信インフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の創造とイノベーションの促進に貢献します。

社会課題・顧客ニーズ

デジタル革新で
新たな社会の変革を期待

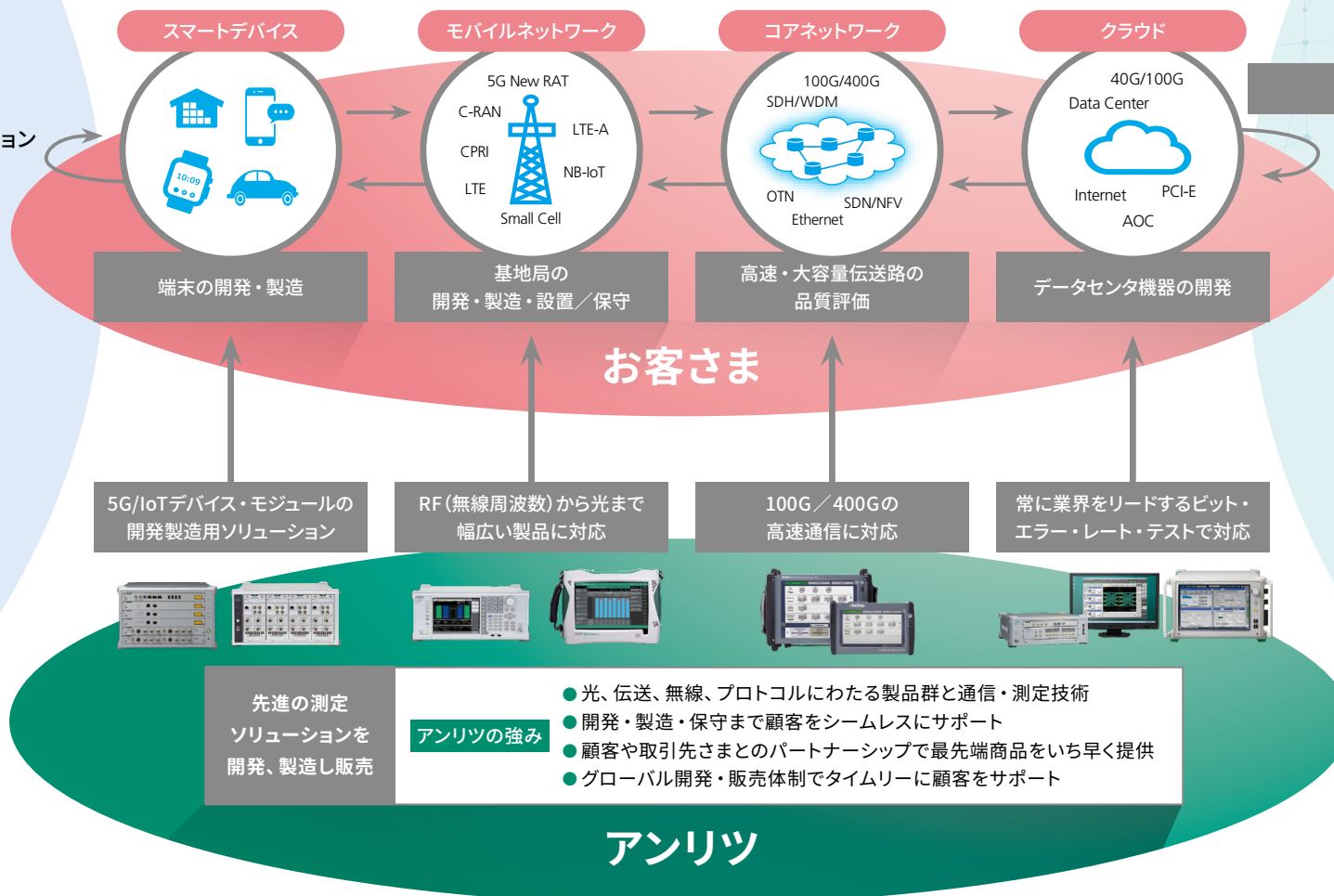
社会課題

- デジタルトランスフォーメーション
- 通信インフラの増強
- テレワーク環境整備
- 交通事故の減少
- 産業の効率化
- 地方格差の解消

顧客ニーズ、関心事

- 5G最新技術に迅速対応
- グローバルサポート
- 優れた投資対効果
- 環境負荷低減など

5Gインフラの開発・製造・建設・保守をアンリツの測定器で評価・検査



未来社会

5Gの特長を生かした社会
課題解決ソリューションで、
豊かな未来を創造

5G

- 高速・大容量
- 多数同時接続
- 超低遅延

工場



農業



建設



自動車



医療



5Gスマートフォンの開発を支えるアンリツの計測事業

ス マートフォン(以下、スマホ)は、日々のコミュニケーションには欠かすことのできない存在となっています。最新の5Gスマホは、4Gよりもさらに速く、たくさんのデータ量をリアルタイムにやり取りすることができますとされ、今後その特長を生かした新しいサービスやアプリケーションの創出が期待されています。

5Gスマホにも従来のスマホのように、国際的なルール「無線通信規格」が規定されています。この「無線通信規格」に基づいた厳格な検査に合格しなければ、世の中に出すことができません。アンリツは、その検査に必要な試験システムを業界最速で開発・製造し販売しました。スマホメーカーや通信キャリアなどのお客さまにお使いいただくことで、5Gスマホの早期市場投入を支えています。

右の図は、数百パターンに及ぶ試験項目を一気に実施可能な、5Gに対応した自動試験システムの一部です。

用語説明

1 GCF (Global Certification Forum)

携帯端末のグローバルな相互接続性を保証するため、ネットワークでの運用基準や携帯端末の認証試験基準を定めている団体。

2 OTAチャンバ

空間を介して電波の送受信を行い、スマホの性能を測定するため、外来の電波を遮断し、内部では電波の反射を防ぐ構造の暗箱。

3 ミリ波

周波数が30～300GHzの電波を言うが、日本の5Gで割り当てられている27.0～29.5GHzも業界ではミリ波帯と呼ばれている。

4 スプリアス

設計上意図した信号以外の不要な周波数成分。

開発中のスマートフォンは、GCF **1** 認証を取得した試験装置で性能を確認し、「無線通信規格」の検査に合格しなければならない。

電波暗箱(OTAチャンバ **2**)の中にスマホを入れて試験を行う。ミリ波 **3** 試験には測定技術の高度化が必要。

開発中の
5Gミリ波対応スマホ



ミリ波スプリアス **4** 試験のGCF認証を世界初で取得(2020年4月時点)したアンリツのこの試験装置で性能を確認し、早く新型スマホを世に出そう!

お客さま



アンリツの5G用試験システム

New Radio RFコンフォーマンステストシステム ME7873NR

PQA事業

PQA事業は、食品や医薬品産業に向けて生産ラインの品質検査工程を自動化するソリューションを提供しています。ここでは事業の8割以上を占める食品産業の社会課題にフォーカスし、アンリツの取り組み事例をご紹介します。

社会課題・顧客ニーズ

安全で安心できる
食品の安定供給

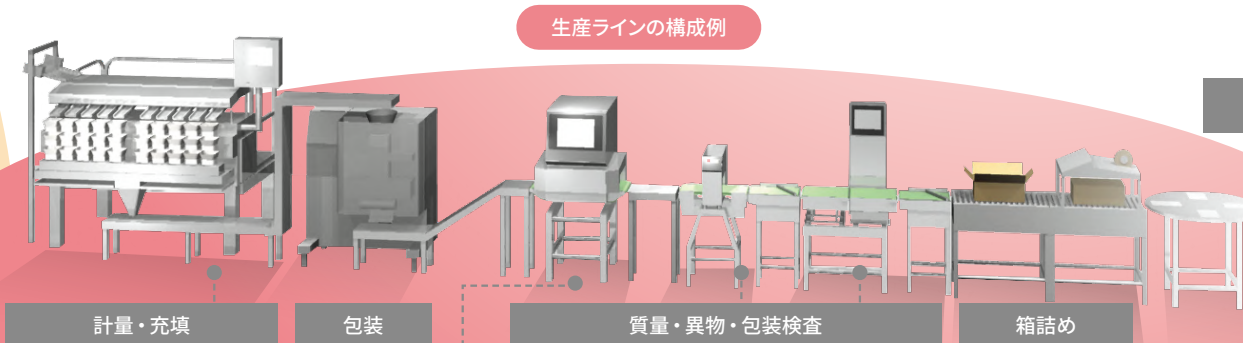
社会課題

- 健康でおいしい食品の安定供給
- 安心して口にできる品質の保証
- 食品ロスの減少
- 労働力不足の解消

顧客のニーズ、関心事

- 高速かつ高精度な検査
- 衛生性と清掃のしやすさ
- メンテナンスの容易さ
- 生産ラインの自動化とリモート監視
- データの活用による生産性の向上

アンリツの品質保証ソリューションで品質検査工程の自動化を実現



お客さま



高速高精度、
高信頼の検査機を
開発、製造し販売

アンリツの強み

- 高速かつ高精度なインライン品質検査技術
- 多様な生産ラインに検査機を導入する適応力
- 国内の充実した保守体制と熟練した保守エンジニア
- 国内の食品検査市場での実績とトップクラスの市場地位

アンリツ

未来社会

食品の品質保証の
高度化を通じて

- 安全で安心して暮らせる社会の実現
- 食品ロスの少ない持続可能な社会



品質保証の高度化で食品ロスの低減に貢献するアンリツのPQA事業

人 口の増加と経済の発展に伴い食料需要が急激に増加するなか、食品が食されることなく廃棄されてしまう「食品ロス」がSDGsのターゲットに掲げられるなど社会問題化しています。このような中、多くの食品メーカーが「おいしさの追求」や「安全・安心の保証」に加えて「食品ロスの低減」を自社の重要課題に挙げています。近年は食品の加工流通に関わるさまざまな企業が互いに協力して食品ロスの低減に取り組む機運が高まっています。

殺菌や保存の技術そして包装技術の進歩に伴い、加工食品の消費期限は大幅に伸び、食品ロスの抑制につながっています。一方、消費期限が長い食品は長期間市場や家庭に留まるため、ひとたび回収廃棄を余儀なくされるとその規模は非常に大きくなってしまいます。食品メーカーにとって、消費期限の延長は「食品ロス」を抑える反面、商品回収時の損失を増大させるリスクでもあり、以前にもまして厳格な品質保証が必要になっています。

アンリツの品質保証ソリューションは、生産段階での不良品の発生や市場からの回収リスクを最小限に留める手段として以前から活用されています。デュアルエネルギーセンサや人工知能など最先端の技術を搭載したX線検査機は、検査対象物の重なりなど、従来の検査機では良否の判断が難しくラインから排除していたケースにも的確に対応します。良品判別精度を高めて生産収率を向上させることで、食品ロスのさらなる低減に貢献しています。



合否判定



新開発のデュアルエネルギーセンサと人工知能で、安定した高感度検査を実現。微小骨の検出精度を向上。

検出できる主な異物



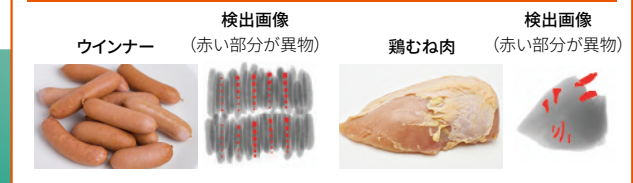
OK

合格品は次の工程へ

NG

不合格品はラインから排除される

不合格品の検査画像例



アンリツの検査機

デュアルエネルギーセンサ搭載 X線検査機 XR75

情報通信事業

先進技術と高い信頼性の通信品質向上ソリューションと映像監視ソリューションを提供し、お客さまとともに安全・安心で快適な社会の実現に貢献します。

社会課題・顧客ニーズ

デジタル革新で
新たな社会の変革を期待

社会課題

- 在宅勤務、オンライン授業増加による通信量の急増
- 豪雨、地震などの自然災害の増加

顧客ニーズ、関心事

- 企業内の通信障害(遅い、つながらない)を簡易に解決したい
- 監視現場の状況を画像でリアルタイムに的確に把握したい



PureFlowWS1を導入し、通信帯域の優先制御を行うことで、在宅勤務者の増加による業務サーバへのアクセス不安定を解消する。

広域に設置された河川・道路監視カメラの映像を災害対策室のモニターに高精細画像で表示。複数地点の情報を多角的に把握し、防災、減災につなげる。

お客さま



帯域制御装置 PureFlowWS1
通信品質改善、ネットワーク安定化を実現



情報閲覧装置 SightVisor2
ハイビジョン映像を9画面表示可能

高信頼な
通信ネットワーク機器
を開発、製造し販売

アンリツの強み

- 独自技術とソリューション提案力
- 豊富な納入実績

アンリツ

9 産業と民間企業の連携を促進する

11 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に具体的な対策を

未来社会

いつでも、どこでも、ストレスなくつながる快適な通信環境が実現



自然災害に対する防災、減災対策が進化し、誰もが安心して暮らせる社会が実現



センシング&デバイス事業

さまざまな産業製品の核となる光デバイス、超高速電子デバイスを世界中に供給し、お客さまとともに人々の暮らしの利便性を高め、安全・安心で快適な社会の実現に貢献します。

社会課題・顧客ニーズ

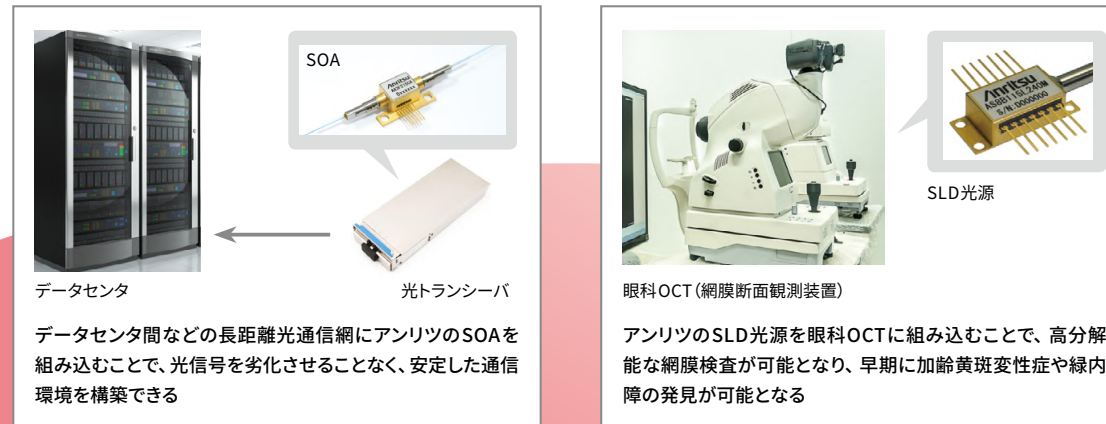
デジタル革新で
新たな社会の変革を期待

社会課題

- データ通信量の増加に耐える強靱な通信インフラ構築
- 高齢化に伴う眼の疾患患者の増加

顧客ニーズ、関心事

- 通信インフラを構成する光ファイバに流れる光信号品質を確保したい
- 高分解能な網膜状態検査装置を開発したい



お客さま



未来社会

高速・大容量通信を活用したデジタル革新により、社会課題の解決を実現



医療の進化により、あらゆる年齢の人々が健康に生活できる社会を実現



アンリツブランドを支える研究開発と知的財産

アンリツグループは、先進技術の獲得、保有、活用を通して“オリジナル&ハイレベル”な商品やソリューションを開発し、グローバルに提供することで、お客さまとともに持続可能な社会の構築に貢献します。

戦略的な知的財産マネジメント

経営戦略

事業戦略

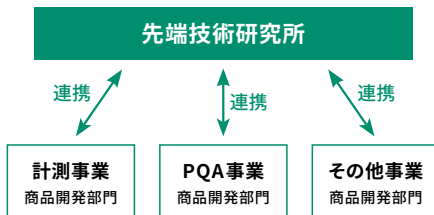
オリジナル&ハイレベルの源泉



アンリツグループの研究開発体制

基盤技術や将来技術の研究開発を担う先端技術研究所と各事業の商品開発部門で構成されています。

計測事業は、日本、米州、EMEA、アジア他に拠点を有し、保有技術の有効活用や人財の多様性でイノベーションの創出を加速しています。



標準規格団体への参画



WEB 参画団体

お客さまとのパートナーシップ

研究・開発

売上高に対する研究開発費比率



WEB 研究開発費推移

獲得

保有

活用

アンリツグループの技術(抜粋)

モバイルコミュニケーション 2G、3G、4G & 5G

- シグナリング技術
- 信号解析技術

オートモーティブ IoTコネクティビティ

- 幅広い無線技術
- コミュニケーション解析技術

クラウドコンピューティング 超高速シリアルインターフェース

- 超高速デジタル信号技術
- 光解析技術

共通基盤技術

- FPGA設計技術
- ソフトウェア設計技術

X線異物検査

- 画像処理技術
- Deep Learning応用

質量検査

- 高速・高精度ダイナミック計量技術
- 計量安定化技術

知的財産の活用

知的財産は、企業の持続的成長に重要な経営資源の一つであり、事業戦略と密接に関係しています。研究開発成果を最大限に活用するために、研究・開発者と知的財産部門が連携し、事業戦略に基づいて知的財産を権利化しています。

新製品・技術の公開

新製品情報、技術情報などはWebサイトを活用し広く展開しています。また、アンリツグループの技術論文集アンリツテクニカルや学会誌への寄稿論文などでも公開しています。

WEB アンリツテクニカル